

1月・2月 開館カレンダー

休館日

北千里児童センター

1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28				

北千里地区公民館

1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28				

北千里図書館

1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28				

北千里児童センター 午前10時～午後6時
休館日 年末年始・施設点検などによる臨時休館あり

北千里地区公民館 午前10時～午後10時
休館日 毎週火曜日 祝日の翌日 年末年始

北千里図書館 午前10時～午後8時
休館日 毎月最終火曜日 年末年始

最寄駅 阪急電鉄千里線「北千里駅」徒歩2分 阪急バス「阪急北千里駅」徒歩2分



まちなかりビング北千里

〒565-0874 大阪府吹田市古江台3丁目8番1号

代表電話・北千里地区公民館 電話・FAX 06-6834-2921
北千里児童センター 電話 06-6833-6211 FAX 06-6155-8122
北千里図書館 電話 06-6834-2922 FAX 06-6834-2944
指定管理者 TRC北千里共同事業体 電話 06-6155-8277

URL: <https://machikita.jp> Instagram: @machikita.jp



WEB SITE Instagram

Event Information

子どもと大人の書き初め大会

日時: 1/14 (土) 10時30分～
場所: 公民館和室
定員: 未就学児と保護者7組程度
申込: 児童カウンター
申込フォーム



受付期間: 1月4日～13日
お父さんお母さんもいっしょにみんなで
新年の書き初めをしましょう。字が書け
ない子どもは絵を描いてもいいですよ!

まちきた紙芝居講座

日時: 1/29 (日) 14時～15時30分
場所: 公民館視聴覚室
定員: 18歳以上の読み聞かせや
子育て支援に関心のある方
先着30名
申込: 電話06-6834-2921
申込フォーム



受付期間: 1/4～1/13
紙芝居の楽しさや読み方、
伝え方を学びます。講師: 童心社

大学生・高校生と学ぶSDGs

日時: 2/11 (土) 14時～15時30分
場所: 公民館会議室5
定員: 小学3年～6年
先着10名(保護者見学可)
申込: 電話06-6834-2921
申込フォーム



受付期間: 1/10～1/31
身近な材料を使って楽器を
作りSDGsについて学びます。

まちなかりビング北千里ニュースレター

MACHIKITA DAYS

1月号

北千里の「時」と「人」をむすぶ 開かれた暮らしの中の交流拠点

2023/1/1発行



子育ても学びも「まちきた」で

今月の表紙「みんな待っているよ」

まちきたコラム 子育ても学びも「まちきた」で

まちきた子育て応援企画 いつもこどものかたわらに／幼児のあいさつ

まちきたの「学び人」の哲学に迫る わたしの学び哲学／関西大学手話サークル あっぷる

まちきた図書館員の偏愛本棚／ふゆごもり読書

まちきたコラム

子育ても学びも「まちきた」で

まちなかりビング北千里が開館して、あっという間に1ヶ月以上がたちました。たくさんの方々にお越しいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、中でもベビーカーや抱っこでご来館される赤ちゃんや小さなお子さまの多いこと！子育て中の保護者の方の居場所として今後もさまざまなイベントを予定しています。

また公民館と図書館もたくさんの方にご利用いただいています。より魅力的な学びの拠点となるよう、こちらも面白い取り組みを企画中ですので、どうぞお楽しみに。

総括責任者（図書館館長）
栗田 智代（くわた ともよ）

#まちきた大作戦



開館記念イベント「#まちきた大作戦」投稿写真をご紹介します。ご参加いただいたみなさまありがとうございました！



勉強もはかどる！？

@choe0212_様

記念すべき初投稿は、1階ウエルカムホールにあるコンセント付の緑豊かな閲覧席でした。投稿者である学生さんの勉強がはかどりますように！



可愛い後ろ姿…♪

@nanami_ambassador様

小さなお子さんが一生懸命階段をのぼる姿はとても可愛く癒されます♪お気に入りの絵本には出会えたのでしょうか（^v^）???



アートでしょ？★

@daaaaaachan518様

子ども向けオープニング記念イベント「てがたdeアート」に参加してくださった1歳の女の子の`にっこり笑顔、いただきました！てがたの完成度に、ご満足いただけただようです♪♪

今月の「知りたいこと」

第2回 幼児のあいさつ

4歳のこどもに「あいさつしなさい」と言っても、頑なにあいさつしません。保育園ではできるのに、どうして近所の人や習い事の先生にあいさつできないのでしょうか。あいさつを出来るようになるためには、どうしたらよいでしょうか。

浦中こういちさんからのこたえ

大事なものは、挨拶したい気持ち！

実は僕も小さい頃はあいさつを進んでする子ではなく、とっても内気で人前に行くことすら恥ずかしい子でした。信頼関係が築けていない人にはなかなかすぐにはできないと思います。おうちの方が気持ちよくあいさつをすることを続けていくことが大事だと思います。そんな大人たちのつながりの中で4歳の子は“あいさつ”は人と人をつなぐ心地の良いものだ気づいていくはずですよ。心配しなくても社交辞令的な挨拶はちゃんとできるようになります。大事なものは挨拶したい気持ちです。にこっと笑うだけでも、ちょっと手をあげるだけでも相手に伝われば立派な挨拶。無理強い逆効果です。時にはあいさつの絵本など読んでみるのもいいかも！

まちきた子育て応援企画
いつも、こどものかたわらに
いつもこどものかたわらにいるあの人がこどもの成長や子育ての疑問に答える連載企画。第二回目の「あの人」は、絵本作家・あそび作家の浦中こういちさんです。



絵本作家・あそび作家
浦中 こういちさん

まちきたの「学び人」の哲学に迫る 「わたしの学び哲学」

【File2】 関西大学手話サークル あっぶる 小松夏実さん



■ 小松さんと手話との出会いを教えてください！

手話との出会いは、友人からの誘いでした。私は大学に入学した当初、何かのサークルに入りたいと思っていましたが、中々勇気が出ず、気付くと8月の夏休みに入ってしまった、半ば入部は諦めていました。

しかし、そんな時、私に声をかけてくれたのが中学校からの親友でした。私自身その時点で手話の知識はほとんどなく、初めはお試しの感覚でサークルに入部しました。しかし、そんな軽い気持ちで入ったサークルで沢山の出会いや経験があり、今ではサークルの仲間達と手話について議論し合い彩りある毎日を過ごしています。

■ ずばり、手話の魅力は何でしょうか。

手話は耳の間こえづら方との会話はもちろん、美術館や博物館などの静かな場所や逆に騒音の大きな場所でも、不自由なく会話することが出来ます。

また、私たちが例年文化祭で行っている手話コーラスのように、音楽に合わせて手話を表すことにより、普段音楽に触れることが難しい方にも音楽を届けることが出来ることも、手話の魅力のひとつだと考えます。

■ いま、リカレント教育や生涯学習の重要性がうたわれていますが、学ぶことの魅力や必要性をどう思いますか？

私は現在、サークルで手話を学び、学校の授業で英語、中国語を学んでいます。そしてこの事により、コミュニケーションの幅が大きく広がった様に感じています。例えば、手話を学ぶことによって耳の間こえ難い方と、英語や中国語を学ぶことにより、留学生との交流なども容易に出来るようになりました。この事は私のこれからの人生を広げる大きなピースのひとつになっていると考えています。

まちきた図書館員の偏愛本棚

北千里図書館の図書館員たちが「本当に好きな本」「読んで欲しい本」だけを毎月紹介し、読者のみなさまを、まだ見ぬ読書の世界へと誘うコーナーです。すべての本は、吹田市内の図書館に所蔵しています。

今月のテーマ ふゆごもり読書

Selector N・A バランダーで育てている多肉植物に、日々癒されています！

はてしない物語

ミヒヤエル・エンデ / 著 岩波書店

現実と物語が交錯するファンタジー

いじめられっこの少年が出会った一冊の本。読んでいるうちに物語の中の国「ファンタージェン」へと導かれ、ふしぎな冒険が始まります。子どもから大人まで、あらゆる世代が楽しめる作品です。重厚感のある装丁にもぜひ注目を。



2月23日（祝・木）開催予定の「手話のおたのしみ会」にご協力いただく関西大学手話サークル「あっぶる」の次期代表である小松夏実さんの「学び哲学」に迫ります！（イベントの詳細は2月号でお知らせします）

■ 今後の夢や目標、挑戦してみたいことは？

現在、私の所属する手話サークルではあまりサークル単位で外部との交流を行うことが出来ていません。そのため今回2月に行わせて頂くイベントのようにもっと外部との交流を増やしていければと考えています。

■ 最後に小松さんのおすすめの本を教えてください！

伊坂幸太郎さんの「バツパーズゴースト」です。この本と出会ったきっかけはあらすじをたまたま目にしたからでした。この本は中学校の国語教師が生徒の作った話を読みながら不思議な出来事に出会っていくお話なのですが、なんと私の中学校の国語教師と名字が同じだったのです。

それに加えて私は、中学校の時その先生にお話を書きよく読んで頂いていたので、とても親近感が湧きました。もちろんこのお話を実際に読んでみると親近感以上に文章の書き方やその構成に引き込まれ、今では私の人生にとっても影響を与えた本になっています。

小松さんありがとうございました！